

## 携帯電話用として使用できる周波数帯について

## 1 1.7GHz 帯 (FDD 方式)

- ア WRC-2000 において第三世代携帯電話 (IMT-2000) 用周波数として追加分配され、国内で周波数移行を進めているところ。
- イ 周波数移行が順調に進むことを前提にガードバンドの必要量等を検討した結果、2006 年 4 月以降、  
全国使用については、  
最大  $15\text{MHz} \times 2 ( ) = 30\text{MHz}$   
東名阪地域 (一部を除く) については、  
最大  $20\text{MHz} \times 2 ( ) = 40\text{MHz}$   
の周波数幅の確保が可能になる見込み。
- ウ なお、東名阪地域 (一部を除く) の使用については、全国的な使用へと拡大することは困難。

## 2 2GHz 帯 (TDD 方式)

- ア 2010 ~ 2025MHz 帯は、WRC-92 において、IMT-2000 の TDD 方式用に分配された周波数。
- イ 情報通信審議会において、2010 ~ 2025MHz の周波数帯における TDD 方式の導入に向けて、技術的条件を検討中。

## 3 2.5GHz 帯 (TDD 方式)

- ア WRC-2000 において IMT-2000 用周波数として追加分配され、ITU において周波数利用方法を検討中。
- イ 2005 年には ITU において周波数利用方法が固まると予想され、その利用方法に従えば、日本では、25 ~ 45MHz 程度の TDD 方式又は FDD 方式の基地局使用 (下り) の周波数が利用できる可能性。

## 4 700/900MHz 帯 (FDD 方式)

2012 年までに、800/900MHz 帯の周波数移行を進めることにより、現在、アナログ TV に使用中の 700MHz 帯と対で 900MHz 帯を新たに携帯電話用として使用することが可能になる見込みであり、この場合、 $30\text{MHz} \times 2$  程度の周波数幅を使用できる可能性。

## 5 1.5GHz 帯 (FDD 方式)

- ア 合計 34MHz 幅 (NTT ドコモ :  $5.5\text{MHz} \times 2$ 、ボーダフォン :  $11.5\text{MHz} \times 2$ 、ツーカー :  $10\text{MHz} \times 2$ ) を携帯電話用として使用。
- イ 1.5GHz 帯は、これまで ITU において、IMT-2000 用として分配されていない。

(参考)

各社が割当てを希望する周波数等について（下線部は具体的な割当ての要望）

NTT ドコモから、1.7GHz 帯(東名阪限定バンド)について、2006 年度までに 15MHz ×2 の割当てを要望するとともに、PDC から W-CDMA への移行期間は PDC 用周波数の維持や、1.5GHz 帯を含め他周波数帯の検討も必要である旨の意見があった。

KDDI は、将来的に加入者増、データトラフィック増によって周波数需要が増大し、中期的には少なくとも 45MHz ×2 の周波数が必要となる旨の見通しを示した。

ボーダフォンからは、NTT ドコモ、KDDI に比べて第 3 世代携帯電話用の周波数の割当てが少なく、ITU-R 算定方式に基づく 2007 年度末の必要周波数である 35MHz ×2 が確保できないこと等を理由に、2GHz 帯の保留周波数のほかに 1.7GHz 帯において 15MHz ×2 の割当てが必要であるとの旨の意見があった。

なお、ボーダフォンに 1.7GHz 帯が割り当てられるのであれば、1.5GHz 帯周波数の将来の使い方について検討することも適切と考えられるとの旨の意見があった。

ソフトバンク BB からは、既存事業者並みの携帯電話サービスを全国で展開する計画に基づき、NTT ドコモ及び KDDI と同様に 800MHz 帯(10MHz ×2)を基本バンド、1.7GHz 帯(10MHz ×2)を補助バンドとして使用したい旨の意見があった。

イー・アクセスからは、新規事業者同士のイコールフットィングの観点から、1.7GHz 帯において、新規事業者 2 社に対して 10MHz ×2 ずつ割当てるべきであるとの旨の意見があった。

アイピーモバイルからは、2GHz 帯において、組込型端末市場 (Machine Market) にフォーカスした、TDD 方式によるデータ伝送サービスを提供したい旨の意見があった。また、まとまった周波数を一つの事業者が使用すべきとの考えから、2GHz 帯 (TDD) の新規参入は、1 社とすべきとする旨の意見があった。

平成電電からは、IMT-2000 ではなく、IEEE802.16e の導入を検討したいとの旨の意見があった。